

2001年～2016年の日本での養殖トラフグの収穫量と金額の推移を表1と図1に示します。収穫量では2001年の5,769トンから2016年には3,300トンと42.8%減少しています。生産者の価格は、収穫量ほどの下落はないものの、ここ数年間は2,000円/kgを割ることが多くトラフグ養殖経営の厳しさが理解できます。韓国産ヒラメの輸入が日本のヒラメ養殖業に甚大な影響を与えたように、中国産トラフグの輸入も日本のトラフグ養殖業に、多大な影響を与えていますが、残念ながら輸入の実態を把握することができません。

一般的に商品の輸入年月、数量、金額は財務省のHPの**実行関税率表**から**統計番号**を特定して検索することになります。表2は**実行関税率表**を抜粋したのですが、例えば韓国から活魚で輸入されるヒラメを検索したいときは、**番号 03.01 品名 魚（生きているものに限る）**の下の方に行くと、**みなみまぐろ**の次に**0301.99 その他のもの**があり、さらに下に行くと**220-ひらめ（パラリクティス属のもの）**と出てきます。そこで**財務省貿易統計（検索ページ）**に、**品目コード 030199220**及び**韓国の国コード 103**と入力すれば、韓国からの輸入量と金額（注1）を検索できます。しかし、トラフグ活魚については、表2**実行関税率表**の**番号 03.01 品名 魚（生きているものに限る）**のどこにも記載がないので、**0301.99 その他のもの**の最後の行の**-290 その他のもの**にトラフグも含まれることとなります。また、その下の行には**03.02 生鮮のもの及び冷蔵したもの**の項目に**0302.89.290-ふぐと03.03 魚（冷凍したのものに限る） 0303.89294-ふぐ**の記載があるので、この2つの統計番号にはトラフグが含まれていることがわかります。以上のことから、中国産輸入トラフグは**統計番号 0301.99.290 生きている魚-その他のもの**及び**0302.89.290 生鮮・冷蔵のふぐ、0303.89.294 冷凍のふぐ**の3つの**統計番号・品名**に含まれていることとなります（注2）。この3品目について、2001年～2016年の輸入税関、輸入時期、価格（円/kg）を考慮して、トラフグの輸入数量と価格（金額）を試算してみたので、冷凍、生鮮、活魚の順で紹介します。なお、本稿の表や図を作成する資料として**財務省貿易統計**及び**農林水産省統計**を使用しました。

1. 魚（冷凍したのものに限る）-ふぐ

表3及び図2のように、中国からの冷凍フグ輸入数量は2002年の14,775トンから2016年には4,633トンと1/3に減少しています。函館から沖縄まで9税関の官署別に検索した結果、下関が全国の90%以上を占めています。下関での輸入価格（注3）は2001年の106円/kgから2016年には236円/kgであり、この価格帯の冷凍フグは、大部分が珍味等の加工用のサバフグ類です。しかし、下関にはトラフグの加工場も集積しているため、トラフ

グも含まれている筈ですが、その数量の推定はできません。また、下関以外で通関した冷凍フグ数量は2002年の1,268トンから2016年には461トンと減少していますが、2004年以降の価格は700円/kgを超えており、相当量のトラフグが含まれていると考えられます。そこで輸入価格が750円/kgの冷凍フグをトラフグと仮定して、全国の税関官署別に検索してみました。その結果、表4及び図3に示すように、東京、横浜、大阪、神戸税関管内の7税関官署が該当しました。数量では、2006年(850トン)以降2011年(150トン)まで減少し、2014年には442トンまで増加しています。価格は1,500円/kg前後で安定しています。図4は輸入数量の多かった2004年～2008年の月別数量と価格を示したものです。価格は750円/kg以上の冷凍フグの輸入時期は、10月～12月に集中しており、トラフグの需要期と合致しています。

2. 魚（生鮮及び冷蔵したものに限る）－ふぐ

表5は中国産の生鮮及び冷蔵フグの税関官署別の輸入数量と価格を示したものです。官署別の数量では、船便で輸送される下関が70%以上を占めていますが、成田、関西、福岡への航空便も利用されています。生鮮及び冷蔵で魚類を輸送する場合、一般的に発泡スチロール容器に魚とほぼ同量の氷を詰めるため、重くて嵩張り輸送コストは高くなります。しかも航空便まで利用するということで、中国からの生鮮・冷蔵フグはトラフグであると推定できます。

図5は中国産冷蔵及び生鮮フグの輸入数量と価格の推移を示しています。数量は2004年(1,254トン)以降減少傾向でしたが、2010年からは100トンを超えるまでに激減しています。この原因としては、2009年に日本の養殖トラフグの浜値が1,000円/kgまで暴落したため、それに合わせて中国産が500円/kg以下まで買い叩かれたため、中国の生産業者が生鮮・冷蔵から保存可能な冷凍にシフトしたためと考えられます。図6は輸入数量の多かった2002年8月～2007年2月の月別数量と価格を示していますが、生鮮・冷蔵フグはトラフグ需要期に合わせて9月～翌年1月に輸入されています。

3. 魚（生きているものに限る）－その他のもの

中国から輸入される活魚の中で、実行関税率表に品名（魚種）が特定されていないものは、トラフグ、ハモ、マダイ、スズキ等があります。図7は「これら品名が特定されていないその他の活魚」の合計輸入数量と平均価格を税関別に示しています。東京から沖縄まで7税関管内の38官署で通関されおり、管内に四国を有する神戸税関の割合が大きく、特に輸入数量の減少した2010年以降では全国の70%近くを占めています。図8は輸入数量の多かった2001年～2006年と、図9は数量が減少した2011年～2016年の月別の輸入数量と価格を示したものです。双方とも4月～7月と10月～12月に数量が増加していますが、図8の方が4月～7月の増加が顕著です。弊社は上海から活きたハモを関西空港着で輸入していた経験があり、2001年～2006年の4月～7月には関西空港だけで毎月100トン以上が通

関されていることから、この活魚はハモが主体と考えられます。そして、10月～12月の輸入の活魚は前述の冷凍フグと生鮮・冷蔵フグと同様にトラフグではないかと推測できます。

表 6、図 10 は、2001 年～2016 年の 10 月～12 月で、中国からの「その他の活魚」の通関数量が月間 100 トン以上の税関官署と、それ以外の官署の合計輸入数量と価格及び平均価格を示しています。輸入数量は 2004 年以降減少していますが、官署別では全般的に宇和島の割合が高く、ここ数年間は詫間の数量が増加し、下関が減少しています。

まとめ

表 7、図 11 は、中国からのトラフグと推定される冷凍、生鮮冷蔵及び活魚について、その輸入数量、価格、金額をまとめたものです。数量は 2004 年の 3,600 トン以降 2011 年まで減少しましたが、その後は 700～800 トンと横ばいで、価格は僅かながら上昇しています。輸入金額は 2004 年の 45 億円から減少し、ここ数年は 10～15 億円で推移しています。

表 8 は養殖トラフグの日本産と輸入中国産の数量、金額を比較したものです。日本国内での中国産の比率は、2005 年前後は数量で 40%、金額で 30%でしたが、ここ数年間は数量、金額とも 20%以下となっています。

以上

注 1 2010 年にひらめ活魚の統計番号ができたので、2009 年までのデータはない

注 2 2011 年以前の統計番号は「030269094 生鮮・冷蔵のふぐ」及び「030379095 冷凍のふぐ」

注 3 CIF 価格（輸入通関前の保険料・運賃込みの価格）

資料 財務省貿易統計 <http://www.customs.go.jp/toukei/>

農林水産省統計 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/>

表1 日本産養殖トラフグの収穫量と生産額、価格

	収穫量	生産金額	価格
	Ton	百万円	円/kg
2001	5,769	14,566	2,525
2002	5,231	13,210	2,525
2003	4,461	12,016	2,694
2004	4,329	10,816	2,498
2005	4,582	10,281	2,244
2006	4,371	9,144	2,092
2007	4,230	9,130	2,158
2008	4,138	9,911	2,395
2009	4,680	8,598	1,837
2010	4,410	8,394	1,903
2011	3,724	7,763	2,085
2012	4,179	7,935	1,899
2013	4,965	8,579	1,728
2014	4,902	8,206	1,674
2015	4,012	9,386	2,339
2016	3,491

図1 日本産養殖トラフグの収穫量と価格



表 2 実行関税率表の抜粋

第 1部 動物(生きているものに限る。)及び動物性生産品	
分類	
第 1類	動物(生きているものに限る。)
第 2類	肉及び食用のくず肉
第 3類	魚並びに甲殻類、軟体動物及びその他の水棲無脊椎動物
第 4類	酪農品、鳥卵、天然はちみつ及び他の類に該当しない食用の動物性生産品
第 5類	動物性生産品(他の類に該当するものを除く。)
第1部 動物(生きているものに限る。)及び動物性生産品	
第3類 魚並びに甲殻類、軟体動物及びその他の水棲無脊椎動物	
http://www.customs.go.jp/tariff/2017_4/data/j_03.htm	
統計番号	
Statistical code	
番号	品名
H.S. code	Description
03.01	魚(生きているものに限る。)
0301.11	淡水魚
0301.91	ます(サルモ・トルタ、オンコルヒュンクス・ミクス、以下省略
0301.92	うなぎ(アングイルラ属のもの)
0301.93	こい(クテノファリユンゴドン・イデルルス、以下省略
0301.94	くろまぐろ(トウヌス・ティヌス及びトウヌス・オリエンタリス)
0301.95	みなみまぐろ(トウヌス・マッコイ)
0301.99	その他のもの
	1 養魚用の稚魚
	－ ぶり(セリオール属のもの)
	111 ー ぶり(セリオール・クインクエラディアータ)
	119 ー ー その他のもの
	120 ー こい
	190 ー その他のもの
	2 その他のもの
	210 (1)にしん(クルペア属のもの)、以下省略
	(2)その他のもの
	220 ー ひらめ(バラリクティス属のもの)
	230 ー こい
	290 ー その他のもの
03.02	魚(生鮮のもの及び冷蔵したものに限るものとし、第03.04項の魚の フィレその他の魚肉を除く。)
	さけ科のもの(第0302. 91号から第0302. 99号までの食用の魚のくず肉を除く。)
0302.89	その他のもの
	294 ー ふぐ
03.03	魚(冷凍したものに限るものとし、第03.04項の魚のフィレその他の魚肉を除く。)
0303.89	その他のもの
	294 ー ふぐ

表3 中国産「冷凍フグ」の下関とその他税関の輸入数量、価格、金額

	下 関		その他		全 国		
	数量 Ton	価格 円/kg	数量 Ton	価格 円/kg	数量 Ton	価格 円/kg	金額 百万円
2001	11,991	106	439	382	12,430	116	1,440
2002	13,507	117	1,268	210	14,775	125	1,841
2003	9,320	116	556	547	9,876	140	1,382
2004	9,944	133	1,029	709	10,973	187	2,049
2005	8,513	166	708	883	9,221	221	2,036
2006	9,255	172	1,054	1,223	10,309	279	2,880
2007	6,794	180	521	1,493	7,315	274	2,001
2008	6,124	181	460	1,693	6,584	286	1,885
2009	4,997	152	139	1,096	5,136	177	911
2010	6,094	167	324	843	6,417	201	1,292
2011	4,264	195	240	1,088	4,504	243	1,094
2012	5,005	187	345	1,550	5,350	275	1,469
2013	4,332	190	342	1,682	4,674	300	1,400
2014	4,490	189	490	1,433	4,980	311	1,549
2015	5,060	253	540	1,195	5,600	344	1,925
2016	4,143	236	491	1,077	4,633	326	1,508

図2 中国産「冷凍フグ」の下関とその他税関の輸入数量と価格

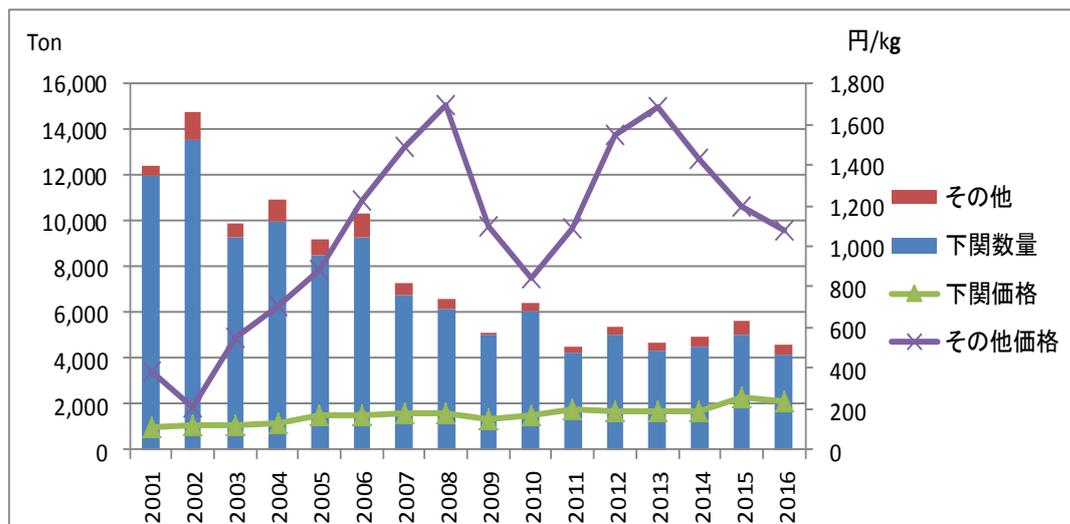


表 4 中国産「冷凍フグ(750 円/kg 以上)」の税関官署別 輸入数量と価格

管内 官署	東京		横浜		大阪		神戸						合計	
	東京		横浜		大阪		神戸		宇和島		丸亀、詫間		数量	価格
	Ton	円/kg	Ton	円/kg	Ton	円/kg								
2001					48	1,570	21	1,683	12	1,186			81	1,545
2002							65	1,284	41	866			106	1,123
2003	29	1,133	59	1,502	63	1,202	61	1,152					212	1,262
2004			360	1,376	67	1,288	73	974					500	1,306
2005			283	1,591	86	1,244	53	351					423	1,364
2006			672	1,526	98	1,472	79	1,010					850	1,472
2007			432	1,534	27	1,788	43	1,248					502	1,523
2008			370	1,821	33	1,600	0		20	1,800			424	1,803
2009	8	955	85	1,238	6	1,301	30	847					129	1,133
2010			147	1,325	6	1,087	39	872					192	1,226
2011			85	1,799	12	976	20	1,399	21	973	10	783	149	1,491
2012	12	807	226	1,872	6	1,036	48	1,251	9	1,554			301	1,704
2013			274	1,874	6	1,283	19	1,383	15	1,556			314	1,818
2014	5	981	402	1,603	15	1,300	20	1,114					442	1,563
2015	5	951	247	2,158	1	1,568	14	1,682	9	906	24	1,020	300	1,986
2016	6	805	194	1,833			37	1,754	37	1,654			274	1,777

図 3 中国産「冷凍フグ(750 円/kg 以上)」の輸入数量と価格

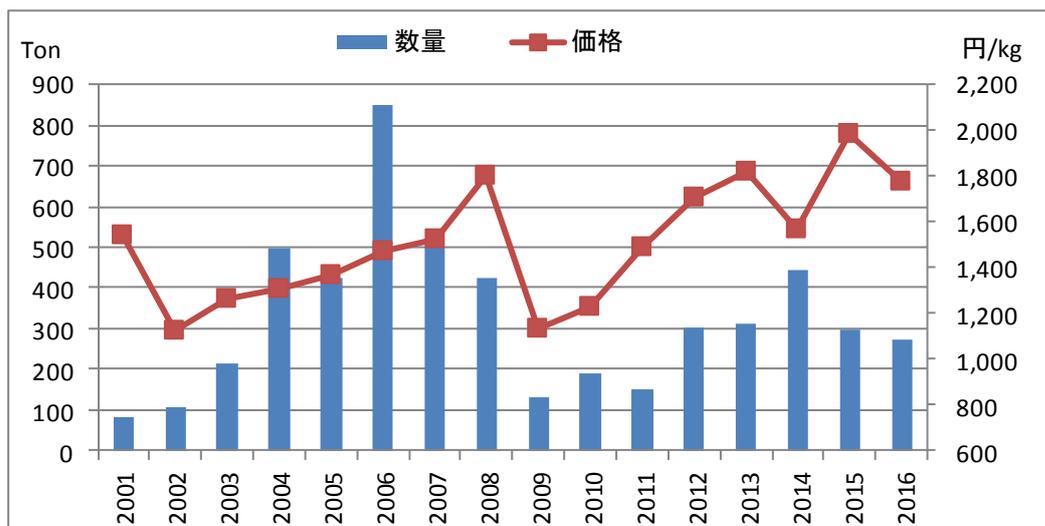


図4 中国産「冷凍フグ(750円/kg以上)」の月別輸入数量と価格
(2004年～2009年)

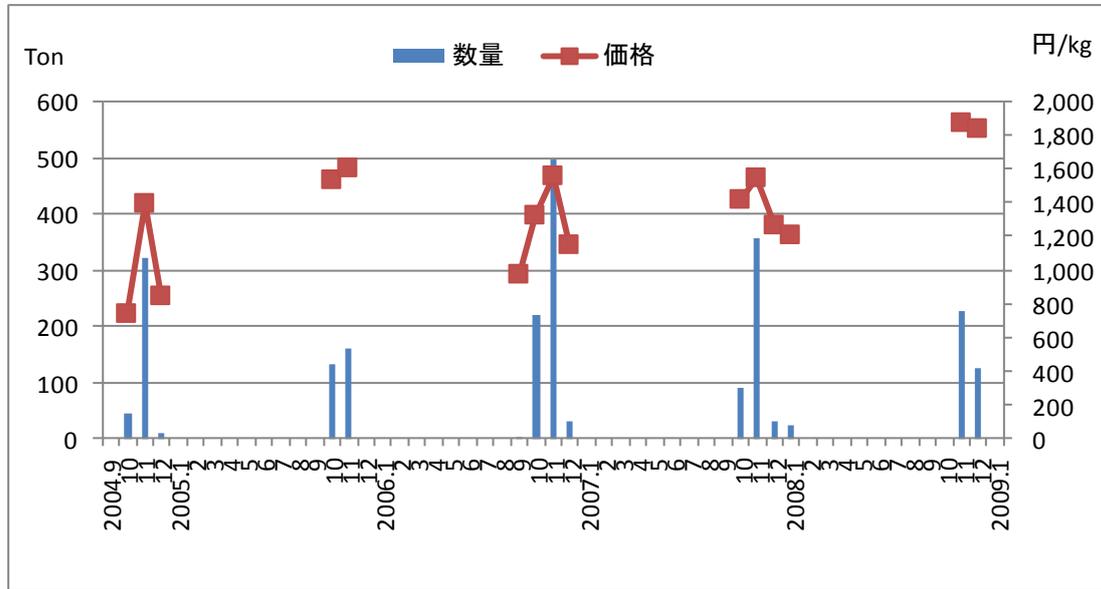


表5 中国産「生鮮及び冷蔵フグ」の税関官署別輸入数量と価格

管内官署	東京		神戸		大阪				門司				その他		合計			
	Ton	円/kg																
2001	3	1,715	49	827	4	710	78	1,195	452	919	35	973	89	1,393	4	146	714	1,003
2002	19	1,103	88	830	26	1,041	36	1,405	514	1,245	22	1,752	18	1,434	1	2,500	724	1,214
2003	25	1,116	78	703	5	1,087	21	949	628	885	46	2,218	4	892	0.3	2,498	806	954
2004	34	971	124	798			10	1,216	900	896	168	2,088	2	1,373			1,238	1,053
2005	9	1,463	54	759			11	1,729	696	1,045	112	1,430	1	700			883	1,089
2006	6	1,993	6	1,001	7	943	1	1,012	915	830	10	883					944	840
2007									511	900							511	900
2008							2	1,746	318	1,324							320	1,327
2009					12	257			254	483	20	627			6	356	292	481
2010							0.4	1,528	87	613	26	829					112	665
2011									38	1,139							38	1,139
2012									59	1,226							59	1,226
2013									42	1,079							42	1,079
2014									13	900							13	900
2015									26	1,583					6	1,443	32	1,557
2016									83	1,632			1	2,700			84	1,645

その他: 堺、広島空港、門司、長崎官署

図5 中国産「生鮮及び冷蔵フグ」の輸入数量と価格の推移

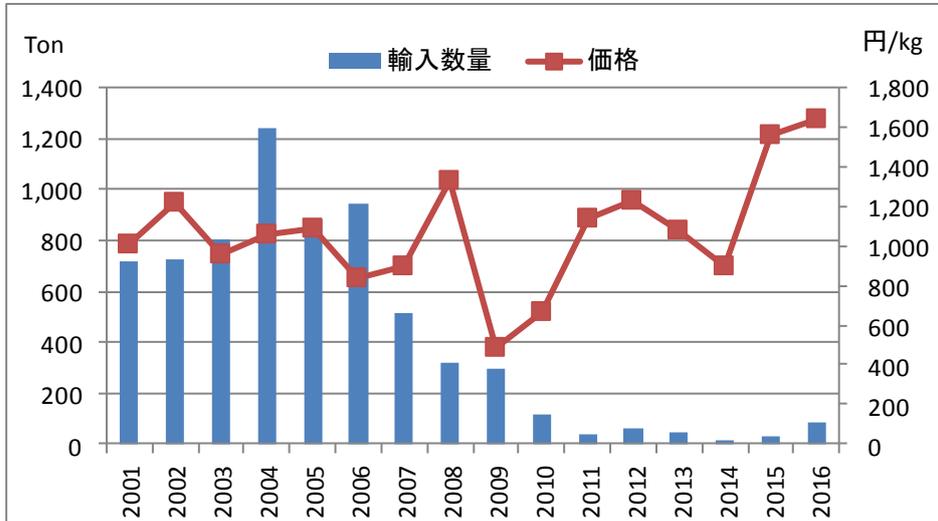


図6 中国産「生鮮及び冷蔵フグ」の月別輸入数量と価格
(2002年～2007年)

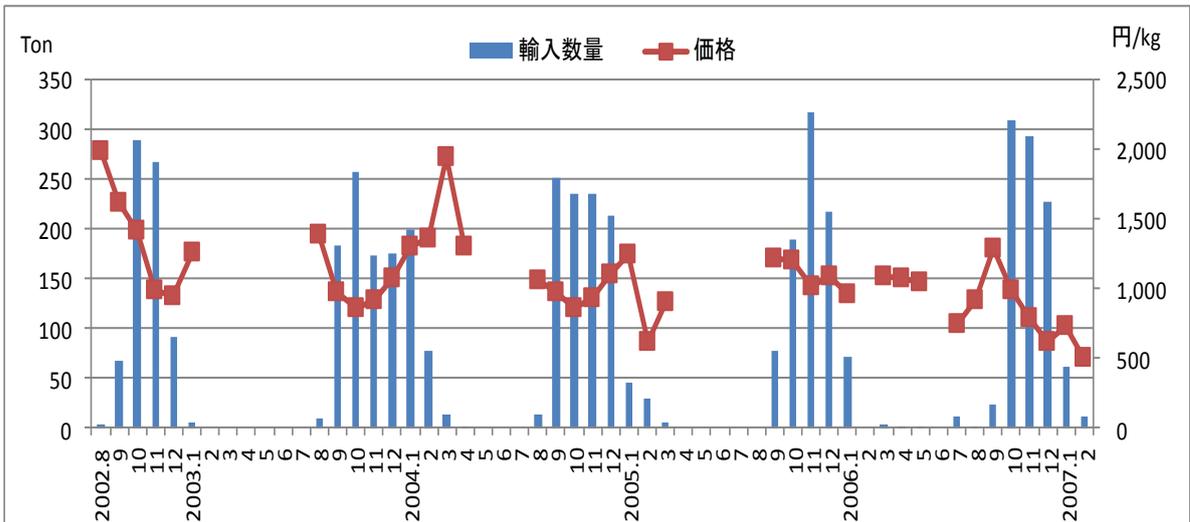


図7 中国産活魚で「その他のもの」の税関別輸入数量と価格

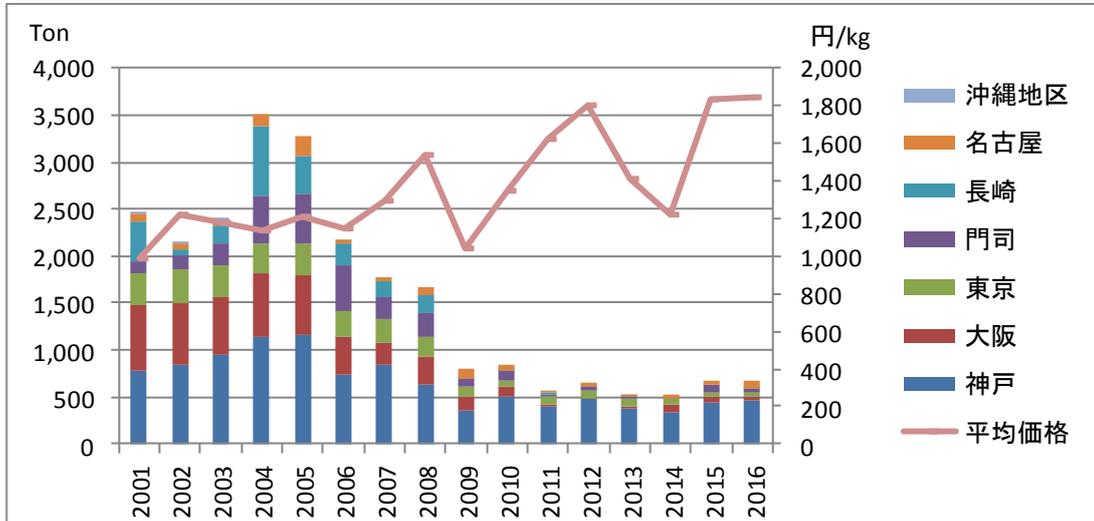


図8 中国から輸入される「その他の活魚」の月別数量と価格
(2001年～2006年)

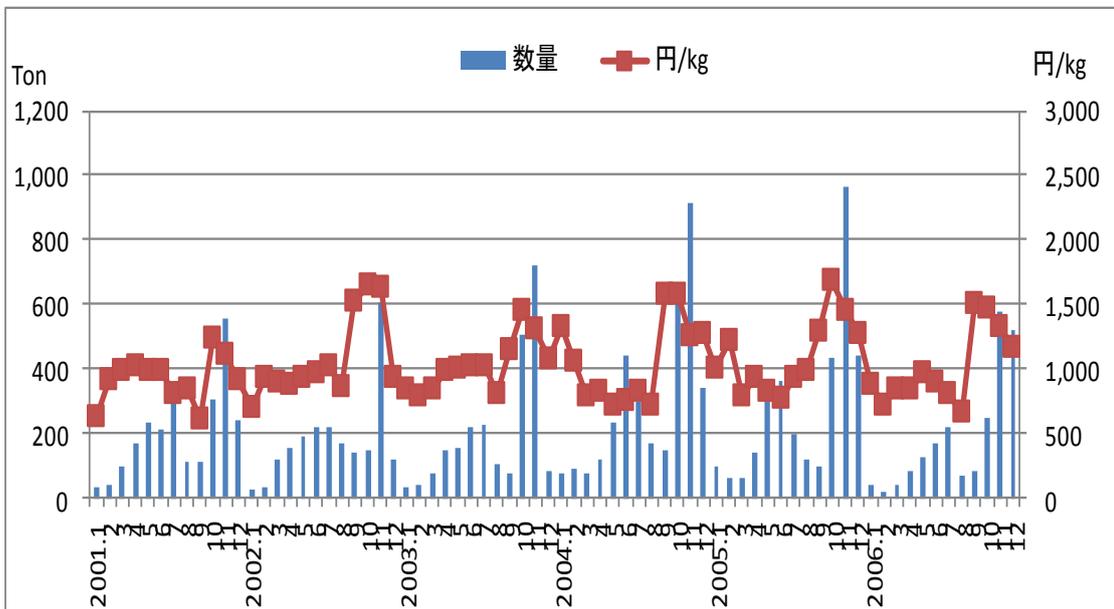


図9 中国から輸入される「その他の活魚」の月別数量と価格
(2011年～2016年)

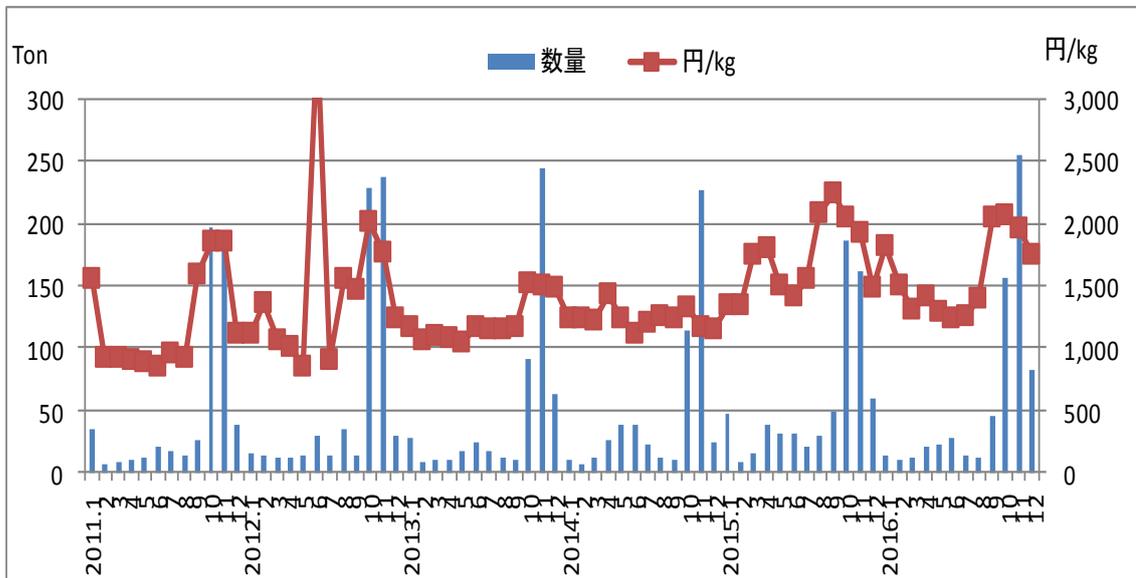


表6 中国から10月～12月に輸入される「トラフグと推定される活魚」の
税関官署別 輸入数量と価格

管内 官署	神戸								門司		名古屋		その他		全国	
	宇和島		詫間		丸亀		松山		下関		尾鷲		Ton	円/kg	Ton	円/kg
2001	353	1,315	3	770	0	0	114	1,526	64	1,438	0		571	858	1,105	1,106
2002	443	1,734	37	1,523	90	1,997	74	1,315	35	1,527	0		195	977	874	1,539
2003	408	1,557	43	1,261	113	1,461	156	1,280	139	1,372	0		446	1,170	1,305	1,354
2004	306	1,540	69	1,425	170	1,579	164	1,748	251	1,611	62	1,472	853	1,099	1,875	1,364
2005	459	1,438	79	1,625	92	1,537	242	1,485	176	1,974	194	1,578	593	1,248	1,834	1,462
2006	414	1,470	96	1,628	63	1,345	16	1,483	124	1,301	16	1,031	622	1,112	1,350	1,290
2007	429	1,478	122	1,715	55	1,548	13	1,673	128	1,841	0		182	1,149	929	1,501
2008	259	1,806	104	2,022	61	2,026	7	1,717	95	2,125	43	2,222	320	1,675	888	1,853
2009	131	1,375	78	762	40	937	4	1,849	63	815	0		114	883	430	1,016
2010	191	1,516	100	1,481	54	1,555	22	1,793	88	1,346	0		40	1,098	495	1,462
2011	201	1,907	61	1,899	60	1,837	34	1,890	13	1,286	0		49	1,192	418	1,791
2012	198	1,721	122	2,089	77	1,852	43	2,121	12	2,110	0		43	1,425	496	1,851
2013	158	1,574	122	1,468	81	1,413	0	0	7	1,472	0		33	1,511	400	1,502
2014	147	1,240	109	1,234	66	1,126	8	1,163	0	0	0		35	1,283	364	1,220
2015	190	1,923	104	2,119	54	1,950	3	1,275	17	2,208	0		40	1,247	407	1,917
2016	170	1,913	170	2,042	64	1,983	1	1,496	10	2,284	25	2,393	53	1,523	494	1,955

図 10 中国から 10 月～12 月に輸入される「トラフグと推定される活魚」の
税関官署別 輸入数量と平均価格

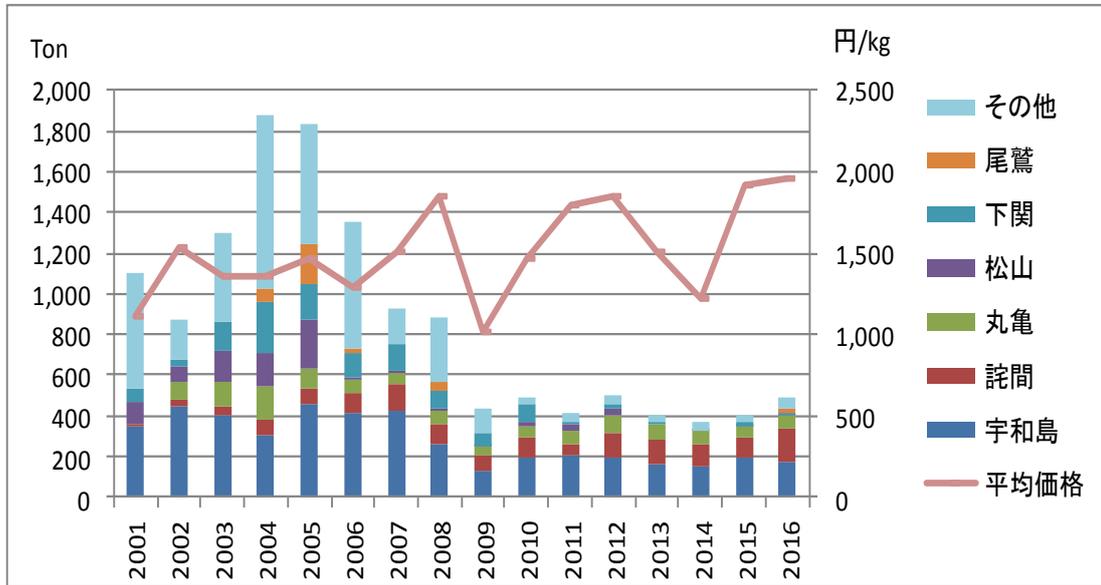


表 7 中国から輸入される「トラフグと推定される魚」の数量、価格、金額

	冷凍		生鮮冷蔵		活魚		合計		
	数量 Ton	価格 円 /kg	金額 百万円						
2001	81	1,545	714	1,003	1,105	1,106	1,900	1,086	2,063
2002	106	1,123	724	1,214	874	1,539	1,704	1,375	2,343
2003	212	1,262	806	954	1,305	1,354	2,323	1,207	2,803
2004	500	1,306	1,238	1,053	1,875	1,364	3,613	1,250	4,515
2005	423	1,364	883	1,089	1,834	1,462	3,140	1,344	4,220
2006	850	1,472	944	840	1,350	1,290	3,144	1,204	3,786
2007	502	1,523	511	900	929	1,501	1,942	1,349	2,620
2008	424	1,803	320	1,327	888	1,853	1,632	1,737	2,834
2009	129	1,133	292	481	430	1,016	851	850	723
2010	192	1,226	112	665	495	1,462	799	1,293	1,033
2011	149	1,491	38	1,139	418	1,791	605	1,676	1,014
2012	301	1,704	59	1,226	496	1,851	856	1,757	1,503
2013	314	1,818	42	1,079	400	1,502	756	1,610	1,217
2014	442	1,563	13	900	364	1,220	819	1,401	1,147
2015	300	1,986	32	1,557	407	1,917	738	1,930	1,425
2016	274	1,777	84	1,645	494	1,955	851	1,867	1,589

図 11 中国から輸入される「トラフグと推定される魚」の数量と価格

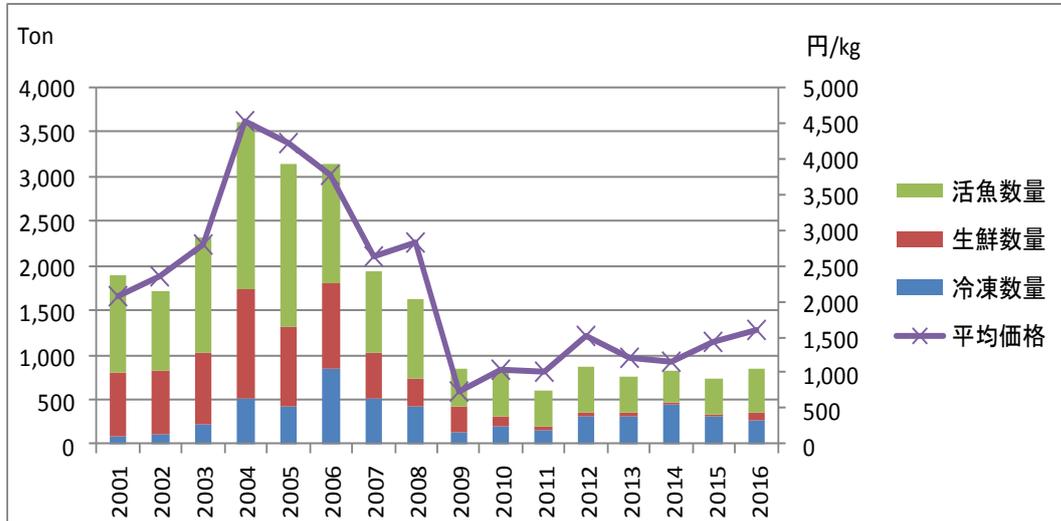


表 8 日本産養殖トラフグと中国産輸入「トラフグと推定される魚」の数量、金額

	日本		中国		合計		中国比率	
	収獲量 Ton	生産金額 百万円	輸入数量 Ton	輸入金額 百万円	数量 Ton	金額 百万円	数量 %	金額 %
2001	5,769	14,566	1,900	2,063	7,669	16,629	25	12
2002	5,231	13,210	1,704	2,343	6,935	15,553	25	15
2003	4,461	12,016	2,323	2,803	6,784	14,819	34	19
2004	4,329	10,816	3,613	4,515	7,942	15,331	45	29
2005	4,582	10,281	3,140	4,220	7,722	14,501	41	29
2006	4,371	9,144	3,144	3,786	7,515	12,930	42	29
2007	4,230	9,130	1,942	2,620	6,172	11,750	31	22
2008	4,138	9,911	1,632	2,834	5,770	12,745	28	22
2009	4,680	8,598	851	723	5,531	9,321	15	8
2010	4,410	8,394	799	1,033	5,209	9,427	15	11
2011	3,724	7,763	605	1,014	4,329	8,777	14	12
2012	4,179	7,935	856	1,503	5,035	9,438	17	16
2013	4,965	8,579	756	1,217	5,721	9,796	13	12
2014	4,902	8,206	819	1,147	5,721	9,353	14	12
2015	4,012	9,386	738	1,425	4,750	10,811	16	13
2016	3,491	...	851	1,589	4,342	...	20	...